

2 健康・福祉

区	地域コミュニティ協議会	活動名
中央	上山校区コミュニティ協議会 (上山地区社会福祉協議会)	福祉研修見学会 (住まい、介護、医療、集いの広場「なじよも」の施設見学)
中央	女池校区コミュニティ協議会	地域包括ケアシステム学習会
西	坂井輪中学校区まちづくり協議会	各自治会に於ける高齢者を支える担い手の育成
西	坂井輪中学校区まちづくり協議会	高齢者支援のための自治会活動実態把握と実践調査
西	青山小学校区コミュニティ協議会	ふれあいの集い
西	青山小学校区コミュニティ協議会	緊急時医療情報等活用支援事業

中央区 上山校区コミュニティ協議会 (上山地区社会福祉協議会)

活動名：福祉研修見学会

(住まい、介護、医療、集いの広場「なじよも」の施設見学)

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域における「地域包括ケアシステム構築」の一環として

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

「地域包括ケアシステムの構築」に向けて、幅広い実践が必要。
今回は施設見学の実践で学ぶこととした。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

「なじよも」の研修見学会を実施した。(住まい、介護、医療等)

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

住み慣れた自宅や地域で、みんなが顔と顔の見える関係づくりの共有が一層深まり、喜びの笑顔、笑顔が見えました。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

なし

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

今回の体験(見学会)は、安心と信頼の継続をみんなで作る地域づくり、また地域包括ケアシステムの構築に向けての学びともなった。《ひとりぼっちにならない、ひとりぼっちをつくらない、ひとりぼっちにさせない》なども学び今後の教訓にしたい。

何よりも強く実感したことは、協働の輪で現場を見聞する積極姿勢が今までになく強かった。今後に向けての活動に大いに生かしてゆけばと思っている。

中央区 女池校区コミュニティ協議会

活動名： 地域包括ケアシステム学習会

活動内容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

平成 29 年度より、地域包括ケアシステムが開始されるが、地域の認識度が低く、始まった時に地域住民の混乱が予想されるため。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

平成 27 年度は各自治会等に対し、地域包括ケアシステムの概要を理解してもらい、平成 28 年度は具体的な事項についての学習会を開催する。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

地域包括ケアシステムの概要を新潟市の地域包括ケア推進課より説明して頂いた。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

校区内にある老人会、介護事業所、民児協。

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

地域での認識が高まった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

各参加団体の認識度が低かったため、自治会等の参加数が予想より少なくなってしまうこと。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

引き続き学習会を平成 28 年度に 2 回開催する予定である。

地域包括ケアシステム学習会の写真





西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：各自治会に於ける高齢者を支える担い手の育成

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

平成29年4月から導入される「地域包括ケアシステム」構築に向け、高齢者に対する支え合う体制作りが急務である。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

各自治会に於ける人材養成としてのリーダー育成研修会を3回行った。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

リーダー育成講座を3回実施すると共に、意見の交換会を合わせて行った。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

新潟医療福祉大学・大学院准教授 青木 茂

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

高齢者を支える担い手育成研修会を3回開催した。

その成果としては、昨年と比較すると参加者より多くの意見が出され包括ケアシステムに関する理解も深まり、関心が集まっている。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

昨年に続いての開催で高齢者に対する各自治会でのニーズも高まっているものの、寄り添い集う施設（場所）又、サポートする人材の確保。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

地域包括ケアシステムに対して、地域内の関心も高まっていることから、各自治会と協力を図り、地域対応について継続して支援する。



グループ 6

<p>場所</p> <p>自活会館 自活会館</p> <p>空き家 空き家の活用 空き家の活用 空き家の活用</p> <p>その他 自活会館 自活会館</p>	<p>費用(お金)</p> <p>一人 100円</p> <p>204名 行和会は プラス</p> <p>参加費 市内交際 社会福祉会</p> <p>お茶飲み会 自活会館 茶室3用費</p>
<p>人材</p> <p>最初の子 役員 役員</p> <p>福祉部 ボランティア</p> <p>老人会 ニホ会</p> <p>一緒に やる方に お家様に 1泊5日</p>	<p>内容(企画)</p> <p>健康の大切 お話し 昔話 体技</p> <p>お話し 昔話 体技</p> <p>社会見学 視察</p> <p>健康体操 お茶飲み会 講演会(講師)</p> <p>声を出さ うて歌う (お茶飲み会 1人1曲)</p> <p>自活会館 お茶飲み会 お茶飲み会</p> <p>お茶飲み会 お茶飲み会 お茶飲み会</p>
<p>その他</p> <p>理念 何のために 可い?</p> <p>孤立を 防ぐ</p> <p>顔の見える 関係作り</p> <p>花のつぼ みを生かす</p> <p>住みよい 地域作り</p> <p>日頃の 声かけ お茶飲み</p> <p>さそって お茶飲み お茶飲み</p> <p>交流 親ばか</p> <p>みんなと 一緒に とき</p>	<p>高齢者の健康 お茶飲み会 お茶飲み会 お茶飲み会</p> <p>三世で 交流</p> <p>個人の人望 お茶飲み会 お茶飲み会</p>

西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：高齢者支援のための自治会活動実態把握と実践調査

活動内容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域活動の中心的な役割を担う自治会活動が、高齢化による組織の弱体やリーダー不足により停滞が見られる。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

各自治会活動の意識や実態についてのアンケート調査を行い、その問題点・課題・解決策を実践的なデータ分析により意識啓発を図る共に、地域活動の活性化に繋げる

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

44自治会の組織体制と地域活動実態、問題点、課題などについてのアンケート調査を行い、調査結果を分析し、報告書にまとめ各自治会及び関係機関に配布する。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

NPO 法人まちづくり学校

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

各自治会から頂いたアンケートに基づき、自治会活動の実態と課題をデータ化し、地域防災、地域包括ケアシステムへの対応を報告書にまとめ各自治会に配布し、各自治会の意識の醸成が図られたと感じる。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

アンケート項目の分析とまとめの考察。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

アンケート結果に基づき、自治会との個別意見交換を行い、問題点や課題を解決し、各自治会の「明るく住みよいまちづくり」に取り組む。

坂井輪中学校区まちづくり協議会
自治会活動実態把握と実践調査
結果報告書

2016年1月

坂井輪中学校区まちづくり協議会 連合自治部

西区 青山小学校区コミュニティ協議会

活動名：ふれあいの集い

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

- ・老人クラブの活動自体が衰退化してきて、多くの方の交流の機会が少なくなっている。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- ・有明地区と浦山地区に分けて、多くの参加者を募ることにしました。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ・限りある予算の中で、参加者全員から楽しんでもらう企画を立てました。
- ・往復の不便を考慮し、マイクロバスやタクシーの手配をしました。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

- ・有明地区自治協議会 ・浦山地区自治協議会

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ・有明地区は113人の参加者であった。
- ・浦山地区は133人の参加者であった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦勞した点はどんなところですか？

- ・有明地区は対象を80歳以上として、浦山地区は対象を75歳以上にしました。
- ・有明地区は会場を「有明園」に変更

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- ・両地区とも、今後ますます対象人口の増加が予想されますが、親しく交流を深めふれあいと、うるおいのある地域づくりを目指して、継続的に展開していきます。





西区 青山小学校区コミュニティ協議会

活動名：緊急時医療情報等活用支援事業

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

- ・地域全体の高齢化と介護世帯の増加傾向が顕在化しています。
- ・救急活動が増加傾向にあり、緊急入院や事故及び災害時対応への問題点がありました。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- ・個々の世帯単位で簡潔にできることを第一目標にする。
- ・活動に向け、先進実施事例を参考にする。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ・医療情報キットを導入している協議会の事例を視察して、誰でもが準備でき、効率的であると導入を決定しました。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

- ・有明地区自治協議会 ・浦山地区自治協議会

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ・救急活動の際に、救急車や駆けつける近所の人に対応しやすくなりました。
- ・区域管轄の消防署員（救急活動）との情報交換の機会が得られました。
- ・約700世帯の配付実績になっています。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦勞した点はどんなところですか？

- ・キットの申し込みから配付までの作業は各自治会の協力が得られ、苦勞した点は無いが救急車を呼んで経験した方に、キット準備の効果を聞くことへの遠慮があり、改善点や工夫が必要かどうか等の確認作業ができていない。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- ・個人情報であり、設置状態等の確認をどのようにしていくか。
- ・70歳以上の方や持病の方を優先しているが、災害時のためにも全家庭への普及活動を展開していきたい。

